

でその内容としては、メロディーの音色に合わせた基礎的な体操や健康に関する講話が主なもので、有意義かつ楽しい介護予防教室でありました。特に、若い女性の保健師さん達が主体的で生き生きと活躍しておられる姿に感動させられました。私は、この教室を契機にして今後の残された人生を、さらに健康に留意し心豊かに、信念と希望に溢れた日々を暮らせるように、新たな気持ちでさまざまな活動を頑張つて続けてまいりたいと思つておりますので今後とも皆様の一層のご支援をお願いいたします。

或る日の思い出

府相地区 倉橋市三

数日前から、急に冷え込んで来た十一月中旬に、今年度から始まった記念すべき第一回東三河老人クラブグラウンド・ゴルフ大会に出場する事になった。早朝から、参加者を乗せた寿楽荘のバスに揺られ、ちらほら始まった紅葉を見ながら約一時間の行程で着いた所は、新城市の豊川左岸、桜淵公園

内のいこいの広場である。広い駐車場には、各地から集まった車が所狭しとばかりに多数駐車していた。まもなく開会式に続いて組み合わせたの発表があり、番号を確認して所定のスタート位置を捜すのに、広い場所のうえ選手が多すぎて右往左往してしまつた。やつと事で一番ホールにたどりつき、競技の開始となつたが、打つたボールは、何時もと違つた感じで思つたように球が飛んでいかない。組の方々が全員「上がり」となつても私一人だけであつち打つたり、此方に来たりで代理出場とはいへ、日頃の練習不足が絵に描いた様に結果として出てしまつた。しかし、私は、大会に参加して知らない方々と一緒にプレーが出来た事、また、皆さんの地域のお話が聞けた事などで大変良かったと思つています。メンバーは、新城二人、音羽、鳳来、各一人の計五人である。通常の組は七人であるが、二人も少ないので他の組よりホール毎のプレーが早く終わり、前の組の終わる迄の間に競技を離れて、他地域での季節がら紅葉の時期や、春の花見の利き酒会、豊川の筏流しなど、たわいもない話

に花を咲かせながら、コースがあげばプレーをする繰り返しであつた。気持を引き締めたり、弛めた変化のある楽しい一日を送らせて頂きました。笑つて歩いて、運動が出来て、体に良いとなれば大変結構なことである。この様なスポーツをこれからも長く続けて行く事が出来れば良いかと、そんな気のする今日この頃であります。何はともあれ人生は健康で、元気に笑つて楽しく暮らせればそれがないよと思ひます。

不思議

小江地区 伊賀義昭

世の中には、不思議なことがあるもので、その体験の一部を披露します。先日の朝、目を覚ますと三時三十分、ウトウトして時計を見ると、四時四十分、寝付かれないままに考え事をしながら少々眠つたかふと気が付いたら五時五十分であつた。このままなら次は、六時六十分が目覚める計算となるが、「それは、無いよな」と思ひながら起きた事がある。また、掛川城を見学に出掛けたある日に

は、オレンジロード料金所の先に友達のA君の車が止まつていた。「どちらまで」と声をかけたら「岐阜城まで出掛けるので、今友達を待つて居るところだ」、「じゃあ気を付けてな」と別れた。そして掛川の帰りに引佐の竜ヶ岩洞を見学するため、駐車場へ入つた。「あれ」確かこれはA君の車だ、岐阜から三ヶ日まで運転して来るのは随分元気だな「逢えるかもしれないな」と思ひながら入り口まで行つたが、あいにく洞内は一方通行であり、出て見れば、駐車場のA君の車は、すでに出発した後であつた。帰路の夕方五時頃、再びオレンジロードで料金を支払い中に後方からの車がライトをパッシングしたので振りかえつて良く見ればA君の車である。「さよなら、おやすみ」と言つてその日は別れた。次の日の朝、形原の魚市場で「ポン」と肩を叩かれ振り向けばA君である。「おはよう、昨日は、竜ヶ岩洞でお前の車が横に止めてあつたナア、出て来るのを待つて居ようと思つたが先に帰つたヨ」と言つていた。同日は、十六日で八百富神社の月次祭が十時に始まるため九時半頃に竹島橋